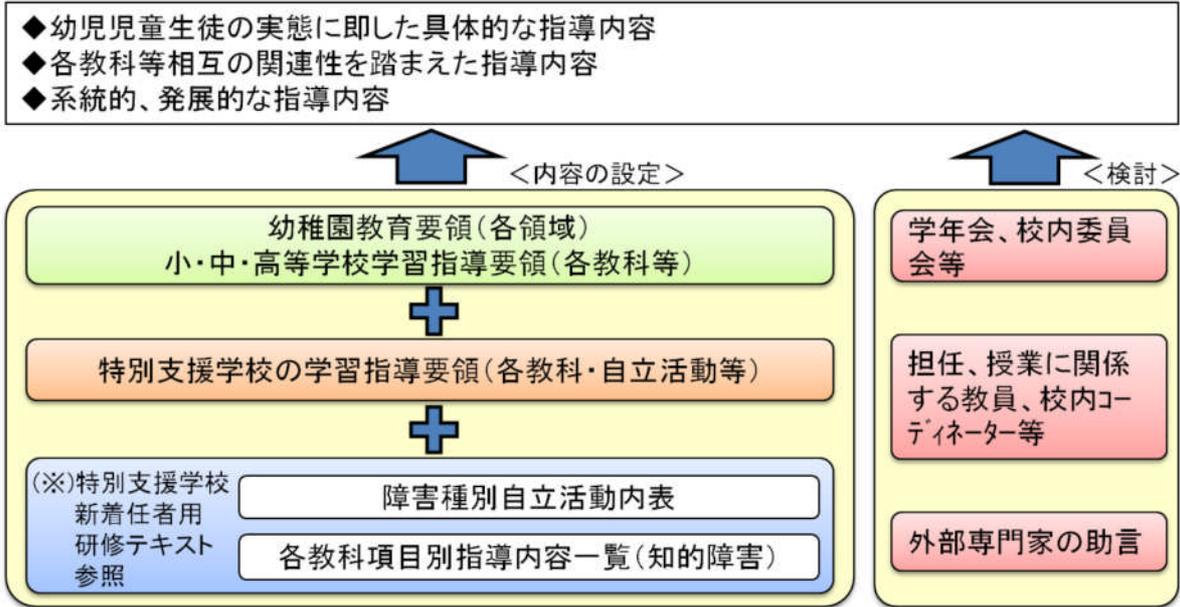


<参考> 指導内容・方法の設定

一人ひとりの幼児児童生徒に設定した目標を達成するために必要な指導内容を具体的に設定することが大切です。



具体的な指導内容の参考として、「特別支援学校新着任用者研修テキスト」に、<障害種別自立活動内容表> <各教科項目別指導内容一覧(知的障害)>を掲載しています。

(URL <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/induction/text.html>)

平成21年6月に文部科学省より示された「特別支援学校学習指導要領解説 - 自立活動編 -」には、自立活動の具体的な指導内容例が記載されていますが、通常の学級に在籍している障害のある幼児児童生徒への適切な指導や必要な支援のための参考にすることができます。

自立活動の内容に示された具体例

区分	項目	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱	LD	ADHD	自閉症	他との関連例
1 健康の保持	(1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事。									
	(2) 病気の状態の理解と生活管理に関する事。									知的障害
	(3) 身体各部の状態の理解と養護に関する事。									病弱
	(4) 健康状態の維持・改善に関する事。									病弱
2 心理的な安定	(1) 情緒の安定に関する事。									病弱
	(2) 状況の理解と変化への対応に関する事。									視覚障害
	(3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事。									言語障害
3 人間関係の形成	(1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。									視覚障害
	(2) 他者の意図や感情の理解に関する事。									聴覚障害
	(3) 自己の理解と行動の調整に関する事。									自閉症
	(4) 集団への参加の基礎に関する事。									ADHD
4 環境の把握	(1) 保有する感覚の活用に関する事。									
	(2) 感覚や認知の特性への対応に関する事。									肢体不自由
	(3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関する事。									視覚障害
	(4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握に関する事。									聴覚障害
	(5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。									聴覚障害
5 身体の動き	(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。									ADHD
	(2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(3) 日常生活に必要な基本動作に関する事。	○	○	○	○	○	○	○	○	知的障害
	(4) 身体の移動能力に関する事。									肢体不自由
	(5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。									自閉症
6 コミュニケーション	(1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。									知的障害
	(2) 言語の受容と表出に関する事。									自閉症
	(3) 言語の形成と活用に関する事。									言語障害
	(4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。									聴覚障害
	(5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事。									情緒障害

他との関連例・・・他の項目との関連例に記述があった障害